

教育目標

自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

飯小は、この教育目標を理念に、「共に育ち、共に生きる 地域の学校」を目指します。

学校だより

上越市立飯小学校

明治9年8月17日開学

第11号 R3. 2. 16

3学期始業式の日から降り始めた大雪により、市全体が雪に閉ざされました。そして、思いも寄らない8日間もの臨時休業となってしまいました。

学校再開にあたり、教職員は校地内の除雪と通学路点検を行いました。通学路は除雪が間に合わず、危険な箇所が多く見つかったため、道路状況をまとめた地図をWebで公開し、県や市に除雪要望を出して対応してもらいました。また、保護者の皆様に通学路の変更や登下校の見守りをお願いしたところ、多くの皆様からご協力をいただきました。ありがとうございました。皆様のご協力により、大きな事故もなく学校を再開することができました。改めて感謝申し上げます。

学校再開後の学校の取組と今後の予定についてお知らせします。



履修内容の確保の取組

1 指導計画の見直し

指導計画と学習内容の進捗状況を確認した結果、2学期末に昨年度からの学習の遅れを十分に取り戻すことができ、3学期は可能な限り通常のカリキュラムで学習を進めようと考えていました。しかし、まさかの臨時休業となったことを受け、今後も予期せぬ状況がまた起こることを想定し、履修内容を今年度中に確実に終わられるよう、改めて指導計画の見直しを行いました。

児童の楽しみにしている機会を無くすことは、非常に残念ではありましたが、スキー教室と長縄大会を中止としました。また、豆まき大会と6年生を送る会は感染症対策を施し、例年とは違う形で行うこととしました。

2 ICTの活用

授業の効率化と主体的な学びを進めるため、ICTの活用をより進めて来ました。後援会や外部団体の支援事業、新型コロナウイルス感染症対策補正予算の資金で、教室提示用大型TVをはじめとするデジタル環境が整ってきました。感染症対策のため、外部の方と直接対面して関わることをできる限り避けつつ、外部からの多くの学びを確保することが必要です。そこで、遠隔（リモート）システムZoomを活用し、外部の方とつなぐオンライン学習を進めています。

金管部の演奏発表機会について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、金管部によるマーチングバンド演奏は、10月の運動会のみになってしまいました。令和3年度についても難しい状況が続くことが予想されますが、高田祇園まつり（7月）、サマーキャンプモデルバンド（8月）、上越管楽器フェスティバル（10月）、かがやき文化祭（10月）、フォワードマーチコンサート（11月）のように地域や保護者の皆様に発表する機会をできる限り設けていきたいと考えています。

ただし、これまで参加してきました様々な大会への参加については、令和3年度以降の参加は難しいと考えています。金管部の保護者や学校運営協議会の皆様には説明をしましたが、令和3年度に「上越市立小中学校の教職員の勤務時間の上限に関する方針」が出される予定です。そうなりますと、通常の部活動指導を教員が行うことはできますが、大会に向けての休日練習などの指導はできにくくなります。教員の代わりに、休日に児童を指導できるようなシステムがあればよいのですが、現段階ではできていません。今後、大会への参加・不参加について検討していきますが、現段階では難しいことをお伝えしておきます。

GIGA スクール構想に向けての取組

1 メディアとの付き合い方

上越市では、GIGAスクール構想により児童一人1台のiPadが貸与されます。GIGAスクール構想とは、児童生徒一人1台の情報端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、子供たち一人一人に合う学びを実現させるという国の事業です。

iPadは今後児童の学習道具となり、学びの対象ともなっていきます。コンパス・定規・鉛筆・はさみなどと同じで、取扱いを間違えれば大きな傷を自他に与えることとなります。外傷ではなく、心の傷を負わせてしまうこともあるため、児童一人一人が正しい情報モラルをもってiPadを使う必要があります。

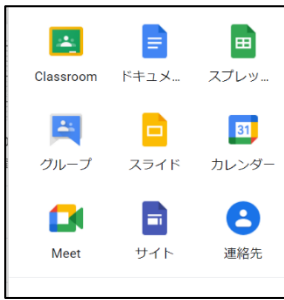
そこで、Zoomによる1月の全校朝会で校長が情報モラルについて指導しました。振り返りカードには、「人の悪口を書くと、自分の脳が傷ついてしまうことが分かった（1年生）」「自分がネットで悪いことをすると、その責任を親が取ることが分かった。そうならないようにしたい（3年生）」「情報発信には責任が伴う。その言葉を送信してよいのか、ボタンを押す前に考えたい（6年生）」等と書かれており、児童一人一人が情報モラルの大切さに気づき、考えたことが分かりました。



<今回配当された iPad>

2 G-suite for Education の活用

私たちのこれまでの取組が認められ、飯小学校は上越市からGIGAスクール構想のパイロット校に指定されました。そして、市内に先駆けて校内の無線環境工事とiPadの設定が完了し、運用できる状態となりました。現在はコンピュータールー



ムのタブレット PC を使い、G-suite for Education を活用した授業を行っています。G-suite for Education とは、Google 社のクラウド教育システムで、様々なオンラインアプリを活用することができます。例えば、児童に課題やテストを送信・回収・集計したり、コメントを書いたりすることができます。自動採点のテストを作成・配付すれば、子供たちは自分で結果や間違いか所を確認して再度挑戦することもできます。また、ワー

プロ・表計算・プレゼンテーションなどのアプリをグループで共有することもできます。共有すると、1枚の模造紙に複数の児童が一斉に書き込むのと同じように、児童がそれぞれの情報端末から同時に書き込みや編集ができます。教科学習だけでなく学級活動や児童会活動にも使うことが考えられ、深い学びの実現の手応えを感じています。校内体制が整い次第、iPad を使った授業を始めます。

AI 顔認識技術による健康管理

当校の児童玄関には非接触型の自動検温器が設置されていますが、気温が低すぎるとエラーとなり、作動しても外気により不正確な検温となってしまいます。そこで試験運用として、今週から年度末まで、遠赤外線を検出するセンサーが搭載されているサーマルカメラを児童玄関に設置します。検温の正確さが向上するだけでなく、AIにより児童の顔を認識して一人一人の健康状態を管理できます。マスクをしていても顔を認識しますし、マスクをしていなければマスクをするように注意します。また、元気で明るい顔なのか、元気がなく暗い顔なのか、児童の表情に基づいて、Happy、natural、sad、angry などの感情を推測して記録します。学校では、このような情報を健康管理や児童理解に生かしていきたいと考えています。

AI は、顔を数値化して記憶していますので、児童の顔写真が外部に出ることはありませんが、機器はインターネットから物理的に接続できないようにしてあります。顔認識技術等に不安があるようでしたら、学校にご連絡ください。

3月の予定

日	内 容
1 日 (月)	6 年生とのあそびウィーク (縦割り班活動)
5 日 (金)	授業参観・期末 PTA・PTA 常任委員会
9 日 (火)	6 年生を送る会
15 日 (月)	NHK 児童画廊放映開始 (~26 日)
23 日 (火)	3 学期終業式 (ZOOM)
24 日 (水)	令和 2 年度卒業式 (参加者制限をして実施)
25 日 (木)	離任式 (予定)